

## 第4回行政改革推進委員会 会議要約

- 日 時 平成27年11月19日(木) 午前9時30分～午前11時22分
- 会 場 マナボーテ村上 中会議室
- 出席者 行政改革推進委員会委員 8名  
総務課長、総務課参事、人事管理室 3名

(午前9:30開会)

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

会長

皆さん、おはようございます。

前回の答申に対して、再考した後期実施計画について報告があります。また、昨年も実施しました外部評価について事業選定をしていただきます。

国でも1億総活躍ということで計画を打ち出しています。地方行政としては、皆さんの力をお借りして進めていかなければならないものです。

市長がふれあいトークを実施しており、人口減少問題や企業への支援などの話がありましたが、村上市は広大な面積ですので、市長をはじめ我々が力を合わせて問題に向け議論していかなければならないと考えます。

(島根県海士町、秋田県の地域活性化の事例を紹介)

行政改革は、我々も知恵を絞って進めていかなければならず、村上市が少しでも活性化し、未来創造できるようになることをお願いしあいさつとさせていただきます。

### 3 報告

#### (1) 行政改革大綱後期実施計画の変更について

【資料No.1】を事務局が説明

委員

整理番号48について、変更内容を見ると、見守り業務を検討するとの内容になっていますが、委員会の意見としては、要援護者の見守り業務を行うということではなく、料金統一の手段として、見守り業務を合わせて行うことも考えられるのではないかという意見でした。

事務局

内容は見守り業務を検討するようなことになっていますが、あくまでも「料金統一の手段として、見守り業務と検針業務を合わせて委託することで統一が進むのではないか」という意見であることを再度担当課に説明させていただきます。

委員

島根県雲南市で多機能自治という形で実施しています。小学校区に公民館があり、その中にまちづくり協議会のような組織があり、そこに行政から事業が委託されています。このような形で、横断的に庁内で検討していただきたい。

会長

ホームページの関係はどうか。

事務局

ホームページの充実につきましては、先日のふれあいトークでも同じような意見がありましたが、随時魅力のあるものに更新するよう心がけています。作成は職員が行いますが、職員間にも差があり、充実しているページもあれば、内容の少ないページがあることも事実ですので、職員のスキルアップも必要であります。

会長

時々、ホームページを開くことはあります。行政なので硬くなるのはわかりますが、もっと目を引くような表示の仕方も考えて欲しい。

事務局

トップページから、思わず見たくくなるような、クリックしてしまうような作りこみが出来ればよいと思います。

委員

整理番号 38 ですが、平成 27 年度に三面川の水としてラベルを作成し、平成 28 年度の実施内容で 1 万本製造し配布する計画になっていますが、お試して作ってあまり評判が良くなければ販売しないということでしょうか。

事務局

ボトルウォーターの評判はどうか、製造コストを見て費用対効果があるかを見極めていくものであります。

委員

1 万本も製造してコストをかけながら、消極的なのではないかと思います。

会長

私も消極的だと思います。1 万本製造してコストもかかるわけだし、やってみたがあまり思わしくない場合は、そうならないように改善すべきであり、できないということではなく可能性を探ることが大切だと思います。

PDCA のサイクルが大切で、アクションがないのでしっかりと考えて欲しい。

## 4 協議

### (1) 行政評価制度における外部評価対象事務事業の選定について

【資料No.2】を事務局が説明

#### 委員

事後評価は出納閉鎖後の6月に行うと説明があったが、前年度の評価を6月に行うのは遅すぎるのではないのでしょうか。4月から事業はスタートしているのに反省なしで始めるのは問題があると思います。

この委員会も8月からスタートしますが、年度始めの期間が無駄になるような気がします。この辺を改善しないと行政改革は進まないと思います。出納閉鎖を待たずに評価をする必要があると思います。

次に、今後の方向性の検討の中で、事業が順調に進んで成果も出ている事業について、A評価になり現状維持という方向性になるのは消極的な感じがします。むしろ事業を拡大していく方が良いと思われま

#### 事務局

出納閉鎖を待たなくても、4月に決算見込額により評価は可能です。決算額は確定後修正することで対応できます。

#### 委員

決算額より、むしろ事業の内容、成果が重要だと思うので出納閉鎖を待たずに事業評価する必要があると思います。

#### 事務局

事業は3月末までに実施しなければならないので、当然3月末で完了しています。決算見込み額による事業評価は可能になります。また、決算額は確定後、修正することで進めたいと思います。

#### 会長

資料No.2-1の今後の予定で、新年度予算の要求は12月で終わっていると思いますが、1月に予算反映協議となっていますが可能ですか。

#### 事務局

予算要求の締め切りは過ぎていますが、査定中でありますので変更協議は可能です。

#### 会長

物事が後手後手に回っていますので、見込みで出来るものは早めに実施するよう調整してください。

#### 事務局

「成果も出ているがA評価になると現状維持になるのか。」との質問についてですが、拡大する必要がある事業については、担当課が「事業の進め方、規模について見直しの必要がある。」という判断をするとC評価になり、方向性は拡大基調になります。必ずしもA評価が良いのではなく、C評価により拡大基調になるものもあります。

会長

次に、事業選定をお願いします。全部で36事業ありますが、この中から2事業選定していただきます。

委員

予算書の中には沢山の事業が載っていますが、その中でこの36事業に絞り込んだ理由は何かありますか。

事務局

各課から2事業を選んでもらいました。事業の内容については、市民の皆さんに直接関わりのある事業とし、例えば庁舎の管理経費などは除きました。

委員

前年度に評価した事業も載っていますが、また評価するのか。

事務局

前年度に引き続き評価していただき、改善策が反映されているかなど評価できると思います。

委員

今年度、新たな事業はあるか。

事務局

「地域おこし推進事業経費」の「地域おこし協力隊」や「村上市住宅リフォーム事業経費」、「観光振興一般経費」の「観光ガイド受付手配業務」、「自殺予防対策経費」が新規事業です。

<事業選定>

会長

「地域おこし推進事業経費」と「村上市住宅リフォーム事業経費」の2事業を選定します。

## 5 次回の日程について

日 時 平成27年12月16日(水) 午後1時～

会 場 クリエイト村上

## 6 その他

会長

市長のふれあいトークが各地区で開催中でありますので、ぜひ参加してください。

事務局

前回の委員会で要望がありました、市税の収納状況について、このたびの会議資料に同封しましたのでご覧ください。

会長代行

午前中の会議ということで大変お疲れ様でした。

行革は削減するだけでなく、節約するという考え方で進めていければと思います。島根県の雲南市で視察してもらいましたが、多機能自治という考えのもとまちづくりを進めていて、公民館にまちづくり協議会が加わり、行政と距離をおいて、社会教育も福祉も、まちづくりも進めている。そこでは市からの交付金もありますが、メーター検針や切手の売りさばきなどの委託を受けて収入を得ています。

行革を進める中で、行政と協働して進められれば良いと思います。

これから寒くなりますので、体調を崩さないように十分気をつけてください。

本日はお疲れ様でした。

## 7 閉 会

(午前 11 : 22 閉会)

以上、第4回行政改革推進委員会会議要約の内容が、正確であることを証明するため、ここに署名する。

平成27年12月14日

会 長 松 本 豊 印